誰もが自分らしく生き、みんなから認められる社会を

日本共産党　戸田市議会議員
むとう葉子

日本共産党の綱領には、ジェンダー平等の社会実現が明記されています。

何故、今、ジェンダー平等なのでしょうか。家事、育児、介護は女性の仕事、外で働くのは男性の仕事という概念が、性差の文化として刷り込まれ、幼い頃から当たり前とされてきた時代がありました。女性が働いても、夫の給料の足りない分を支える程度で良い、補助的な役割で問題ないといった考え方が、同一賃金は必要ないという政治家を増やしました。

対等な関係を築けない社会を変えたい

女性の『生きづらさ』が表に出てくる一方、最近では国際男性デーでも男性が『男らしさを求められる社会は生きづらい』と声が挙がりました。家事は勿論、子育ても介護も、外で働くことも分担すれば、同じ想いを共有することができます。家族の問題を一緒に考え、社会の理不尽な事に対する視点をもち、解決を積み重ねることが対等な関係を築くことに繋がると私は思うのです。

埼玉県議会にみる自民党政治

子育て世代に寄り添っていない自民党提出の「虐待禁止条例改定(案)」の内容は、小学校 3 年生のお子さんが、子どもだけで公園で遊ぶことも、家で留守番することも虐待だとして禁止した条例でした。失敗を繰り返しながら、経験を積んで親から少しずつ自立していく時期、親の監視なしではどこにも行けないという「とんでもない条例」でした。反対の声が全国に広がり、取り下げることとなりましたが、自民党は条例そのものは間違ってはおらず、説明が不十分であったとし、その意図する考え方は変わっていません。

これからもご一緒に声をあげましょう

障害があるなしにかかわらず、子どもも大人も男性も女性も、LGBTQ の方も誰もが基本的人権が保障され、認め合う社会を築きたい。おかしいことは、「おかしい」と言える、その場面できちんと話し合いができる社会は、平和な社会だと思います。

10 月 11 日埼玉県庁前で、左梅村さえ子さん。詳しい内容は

むとう葉子チャンネル

今年も一年お世話になりました

12 月議会一般質問
1. 子供の居場所について
2. 男女共同参画について
3. 配偶者暴力相談支援センターについて

詳しくは議会報告会(右記)にお出かけください

日本共産党 No.71 2023年12月
東部地域後援会ニュース

いつもニュースをお読みいただいてありがとうございます。
ご意見、ご要望をお寄せください。

読者様

発行　日本共産党東部地域後援会
戸田市下前１丁目 10-35　戸田市委員会事務所内
むとう葉子市議ホームページ
HP:http://www.mutou-youko.com /
E-mail:i19414034@gmail.com
TEL/FAX : 442-3599

部内資料

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日刊紙 3,497円
日曜版 930円

日本共産党 戸田市後援会 新春のつどい

2024
日時:2月11日(日)
12 時～14 時(開場 11時半)
場所:さくらパル

お誘いあわせてお出かけください

署名と募金のお願い

・健康保険証マイナカード一体化反対
・消費税減税・インボイス反対
・大軍拡・大増税反対
★ガザの子どもたちに募金を集めています
※事務所までお越しください

12 月議会報告します
ぜひおいでください

むとう葉子市議 議会報告会

とき: 1 月14日(日)
午後2時～4時
1 時半開場
ところ:東部福祉センター
3Fサークル室
参加費無料

みんな～
聞いて
聞いて

自分らしく生きられる社会をご一緒に

日本共産党
演　説　会

田村智子 副委員長を迎えて

11 月 23 日本共産党田村智子副委員長を迎えて、「日本共産党演説会」が埼玉会館大ホール開かれました。

田村氏は、自民党埼玉県議団が提出した、子どもだけでの留守番などを禁止する虐待禁止条例「改正」案を撤回させたのは画期的だとして「明治憲法の下での家制度にしがみつき、母親に“子どもから目を離すな”と強制する、ゆがんだ自民党政治を根本から変えよう」と強調しました。

また、岸田政権について「理論的にも政策的にもボロボロの政治を変えるためにも、共産党に入ってほしい。岸田政権を退陣させ、新しい政治をつくろう」と呼びかけました。

衆院北関東比例候補の塩川鉄也衆議院議員、梅村さえこ予定候補が決意表明しました。また、おくだ智子（2区）さんをはじめ、各小選挙区候補も訴えました。この演説会に参加したお二人から、投稿をいただきました。

23日、埼玉文化会館で開かれた「日本共産党演説会」にいそいそと出向いてみました。

久しく演説会とは遠ざかっていましたが、何より田村副委員長のお話が聞けるという野次馬根性ゆえの浦和行きでした。また、劣化し続けるいまの政治への人並みの怒りが腹の底にあったからかもしれません。

講演はいまの情勢に鋭く踏み込む内容で、さらに言えば、来年 1 月に大会を迎える党としての立ち位置を指し示すものでした。改定綱領による世界や日本情勢の見方、政治や暮らしを変える道筋、そして資本主義に代わる新たな日本社会の未来像、等。自公のボロボロ政治を変えるためには、何より日本共産党自身が大きくなること、そして野党共闘のさらなる進化が必要なことを痛感させられる内容でした。

一級品の講師は、論立ては勿論、歯切れ、ユーモア、感情注入などさすがで、これがタダで拝聴できるとはなんとも贅沢であったものの、ところで「あなたは何ができるの」とのささやきも聞こえてくるのでした。

（中町H. Iさん）

共産党演説会を YouTube で視聴しました。

衆院議員塩川鉄也さんの〝人参食わず嫌い〟のお話はわかりやすく面白かったです。

子供の頃、赤い人参が嫌いだったのに、どうして今は「赤」なのかと母親に言われたと。その時塩川さんは、食べてみたら美味しかった、今ではいろいろな料理の人参を好んで食べていると答えた話です。それを政治に置き換え、共産党の食わず嫌いを無くしていきたいと言うユーモアのあるお話でした。確かにその通りです。食わず嫌いをそのままにしておいてはもったいない！まずはひとくち‥ム、ム活ける！という人達を増やす事でしょうか。

講演の田村智子さんのお話はいつも共感の嵐です。以前、党の政策「経済再生プラン」を打ち出した時、田村さんの勢いや意気込みを感じました。塩川さんの食わず嫌いの話を引用すれば、党の経済再生プランは食わず嫌いを治す一口目になるのではないかと思います。

田村さんの熱意溢れる講演に、台所仕事をしながら視聴していたのですが、私もスマホに向かって拍手喝采！

（下戸田 M.K さん）

内閣支持率が下がるのが『不思議』

が不思議?! 自公政権はどこを向いて誰のために政治をしているのか

最近の各種世論調査によれば、内閣支持率が急降下しています（表右参照）。

支持率の低迷が「不思議」？

このような支持率の低下について、経団連の十倉雅和会長は11月20日の記者会見で、「一つ一つの政策は正しい方向なのに、‥なぜこれで支持率が上向かないのか私も不思議だ」と述べました。

支持率の低迷の理由がわからないのが不思議！

多くの国民は、明日の生活に困っています。防衛費増額より消費税の減税を、原発や火力発電ではなく再生エネルギーを望んでいます。実質賃金は下がり続けているのに、企業の内部留保は500兆円超え。パレスチナ停戦でも、無条件の米国追従で独自外交を打ち出すことができずにいます。大阪万博は当初予算の倍額。学生、低賃金のシングルマザーや非正規雇用の姿が見えていないのでしょうか。どれもこれも「正しいい方向」と言えないことが支持率を下げている理由だと思うのですが、経団連会長には分からないことが国民にとっては「不思議」です。

財界と自民党の「癒着」

自民党は、自身の政治資金団体「国民政治協会」（国政協）を通じて企業・団体から献金を集めています。献金した企業上位10社には、財界総本山である経団連の役員企業がずらりと並びます。（表左参照）住友化学の会長が十倉雅和氏です。

同じ記者会見で十倉会長は「いいことをやっているのに」と、岸田自公政権の政策を「評価」していますが、この政権が、どこを向いて誰のために政治を行っているかが、くっきりと浮かび上がってきます。

日本共産党は、企業・団体から献金を集めていません。「政党助成金」も受け取っていません。

2022年に国民政治協会に献金した上位10社

	名　称	金　額	経団連役員
1	住友化学	5000万円	会長
2	トヨタ自動車	5000万円	元会長
3	キヤノン	4000万円	元会長
4	日産自動車	3700万円	
5	野村ホールディングス	3500万円	副会長
6	日立製作所	3500万円	元会長、副会長
7	三菱重工業	3300万円	副会長
8	大和証券グループ	3200万円	
9	東レ	3000万円	元会長
10	パナソニックホールディングス	2850万円	副会長

11月の報道各社の世論調査

	実施期間	内閣を支持する	支持しない
朝日	18～19日	25%(-4)	65%(+5)
読売	17～19日	24(-10)	62(+13)
産経	11～12日	27.8(-7.8)	68.8(+9.2)
NHK	10～12日	29(-7)	52(+8)
共同	3～5日	28.3(-4.0)	56.7(+4.2)

(注) カッコ内は前回調査との差

私の釣り日記

新潟県、湯沢地区を流れる、魚野川流域に、勤めていた会社の先輩と、久しぶりの釣りに出かけた。期待は大きく臨んだが、釣果はいまいち。形は小さく、あゆ特有のパワーがなく、例年になく不良。今年は天候が不順、特に雨不足で、川の水が少ない。清流（河川）は天候に大きく左右される。どうやらこんなところにも、地球温暖化が災いしている。アユ釣りは 7 月 10 日解禁 9 月 10 日禁漁。来年も無理かなと少しがっかりしながら帰途に就く。

（喜沢南 K.K さん）

現代版「北風と太陽」を考える

イソップ物語の「北風と太陽」を思い出した。北風と太陽が旅人の衣服を脱がせるのに どちらが強いかという話である。これは平和を守るのにどちらがいいかというのに重なっている気がする。

先ず北風が旅人をめがけて強い風を吹きつける。旅人は衣服を飛ばされまいとしっかり押える。北風は更に強い風を叩きつける。これは、武器をもつ、軍隊をもつ、そしてミサイルをもつ。核武装の話まで出てくるのと共通していないだろうか。そのためには莫大な金が必要となる。軍拡増税に進み、財政は破綻し、国民の生活まで破壊されてしまう。

次は太陽の番だ。あたたかな光を静かに注ぐと、やがて旅人は衣服を脱ぎはじめる。ミサイルや核兵器なんて必要ない。平和外交で近隣諸国に安心を与えればいいのだ。まさに憲法九条は太陽のような存在ではないだろうか。

（只野凡人）